

ら、将来にわたり大きな財政需要が見込まれます。社会保障経費や公共施設・社会資本の維持管理経費などについても年々増加傾向にあるため、厳しい財政運営を強いられる可能性があります。

今後、安定した町政運営を行っていくためには、事務事業の見直しなど、財政健全化に向けた取組みを着実に実行するとともに、財政規模に応じた適正な事業選択を行う必要があります。

このような状況を踏まえて、令和2年度氷川町一般会計予算につきましては、大幅な歳入減を見据えた厳しく堅実な財政運営に向けて職員自らが創意工夫を図り、事務事業の徹底的な見直しや事業間の優先順位の厳しい選択を行う一方、将来に向けた町勢発展の礎を築くために重要と考えられる事業については、国・県の交付金などの活用を図り必要な財源を確保することとし、徹底したコスト意識のもとメリハリのある予算編成に心がけ、対前年比6.9%減の総額63億9,977万4千円といたしま

した。

歳入では、町税が若干増加し、地方交付税は横ばい、財源確保のために財政調整基金から繰り入れを行い、町債につきましては、必要最小限の起債に抑えたところであります。歳出では、総務費、公債費を増額予算とし、それ以外は全て減額予算としました。

産業

足腰の強い持続可能な農業経営を図るために、各種生産組織および営農組織を中核とした組織型農業を推進するとともに、農事組合



農業用排水路の改修

法人の安定経営への支援ならびに担い手農家の育成を図るとともに、町単独事業の継続と湛水防除事業、氷川大堰改修事業ならびに多面的支払交付金事業を活用した農業生産基盤整備を県や地区と連携して推進してまいります。

プレミアム付商品券発行や住宅リフォーム助成により、町内における消費喚起を図るとともに、事業継承と後継者の育成に向けた創業支援・事業所等整備促進事業および若手後継者等育成事業を継続して実施します。企業誘致活動につきましては、既に進出予定の企業の支援はもとより、新たな企業誘致活動を推進してまいります。

保健・福祉

生活の安定は健康づくりという視点から疾病の早期発見、早期治療を促進し、町民の皆さまの健康増進を図るため、保健予防、検診事業および健康相談、保健指導、食生活改善指導をさらに強化・推進いたします。

子育ておよび交通弱者の支援として、高齢者等福祉タクシー利用

料金支援実証事業、病児・病後児保育、子ども医療費無料化、産前産後ホームヘルプ事業および出産祝金支給事業を継続し、4月から新たに保健師を中心とした『氷川町子育て世代包括支援センター』を設置し、保健予防と児童福祉の両面から支援してまいります。

高齢者支援として、いきいきサロン事業を全地区で開催しておりますが、高齢者のみならず地域の各年代層の皆さまが関わりを持つ機会をつくり、地域ぐるみで高齢者を見守る環境づくりを進めてまいります。

社会福祉協議会の円滑な事業運営と改革の一環として、社会福祉協議会と民間施設と役割分担を図り、社会福祉協議会独自の地域で支える介護・福祉の環境づくりを進めてまいります。

教育

整備した空調設備（エアコン）を運用し、快適な学習環境の提供とICT機器を活用した学習支援により学力の向上を図ります。

竜北西部小学校の学童保育につ

いは、現在空き教室を利用して
いますが、新たに施設を建設する
こととし、令和2年度に用地取得
と造成設計に着手します。

本町教育の特色であるコミュニ
ティ・スクールや地域学校協働本
部事業も継続して取り組んでまい
ります。

幼児期における質の高い保育・
教育を支援するための子ども・子
育て支援事業計画および新次世代
育成支援対策行動計画に基づく事
業を執行し、すべての子どもと子
育て家庭が安心・安全・健康に暮
らせる町を目指してまいります。

生活環境

「ごみ減量化宣言」に基づき、生
ごみ減量化をめざした電気式生ご
み処理機購入助成の継続と新たに
コンポストを助成対象とし、積極
的にその普及を図り、ごみ減量化
に努めてまいります。

デジタル化した防災行政無線の
活用と消防団および自主防災組織
の活動を支援するとともに、緊急
時における避難施設として、野津
防災公園、宮原防災公園ならびに



建設中の野津防災公園

網道防災公園を計画的に整備して
まいります。

下水道普及率の向上と宮原処理
区の八代北部流域下水道への編入
工事を県とともに推進してまいり
ます。

道路・河川および排水路につき
ましては、地区要望を含め、優先
順位を付けて整備を行ってまいり
ます。

行政運営

第二次氷川町総合振興計画、第
二期氷川町まち・ひと・しごと創
生総合戦略ならびに氷川町国土強

靱化地域計画で示したまちづくり
の基本方針および各種施策を遂行
するため、財源の確保と堅実な行
政運営を図ってまいります。

氷川町第二次行政改革大綱およ
び実施計画に基づいた改革を確実
に実践するとともに、堅実な行財
政運営を行うためにも、進捗状況
の確認と成果の検証を行い、堅実
な行財政運営を進めてまいります。

さらに効率のよい機能的な行政
組織とするため、公共施設の管理
運営計画に基づき、適正な施設管
理と効率的な運用に努めてまいり
ます。

入札制度において、予定価格を
事前公表することで、入札の適正
な執行に努めてきたところであり
ますが、落札率の高止まりなどの
指摘を頂いておりました。

そこで、入札制度における透明
性、公平性および競争性の確保を
図る目的で、令和2年4月1日以
降の入札から、予定価格の公表時
期を事後公表へ移行します。

行政運営の原動力である職員の
能力開発と育成に尽力するととも
に、人事評価を厳正に行い、処遇

へ反映させてまいります。

町民の皆さまとの対話と協調が
重要であります。町政懇談会を
工夫して実施するとともに、情報
を共有する必要がありますので、
出来る限りの情報提供に努めてま
いります。

氷川町が誕生して15年目を迎え、
持続可能な基礎自治体としての礎
を築く大切な時期を迎えています。

令和2年度は「持続可能な町政
運営をめざした行財政改革」と位
置づけ、歳入減を見据えた徹底し
た行財政改革に取り組みると共に、
将来の氷川町を展望した堅実な視
点を持ち、第二次氷川町総合振興
計画ならびに第二期氷川町まち・
ひと・しごと創生総合戦略に基づ
いたまちづくり戦略を掲げ、議会
の協力を頂き、町民の皆さまと協
働しながら、『安心して暮らせ、幸
せを実感できる持続可能な田園都
市・氷川町の創造』に向け、全身
全霊を傾注し堅実かつ積極果敢な
町政の展開を行ってまいりますの
で、より一層のご理解とご協力を
お願い申し上げます。